

阿賀川維持管理工事の安全施工について

阿賀川維持管理工事

田中建設工業株式会社

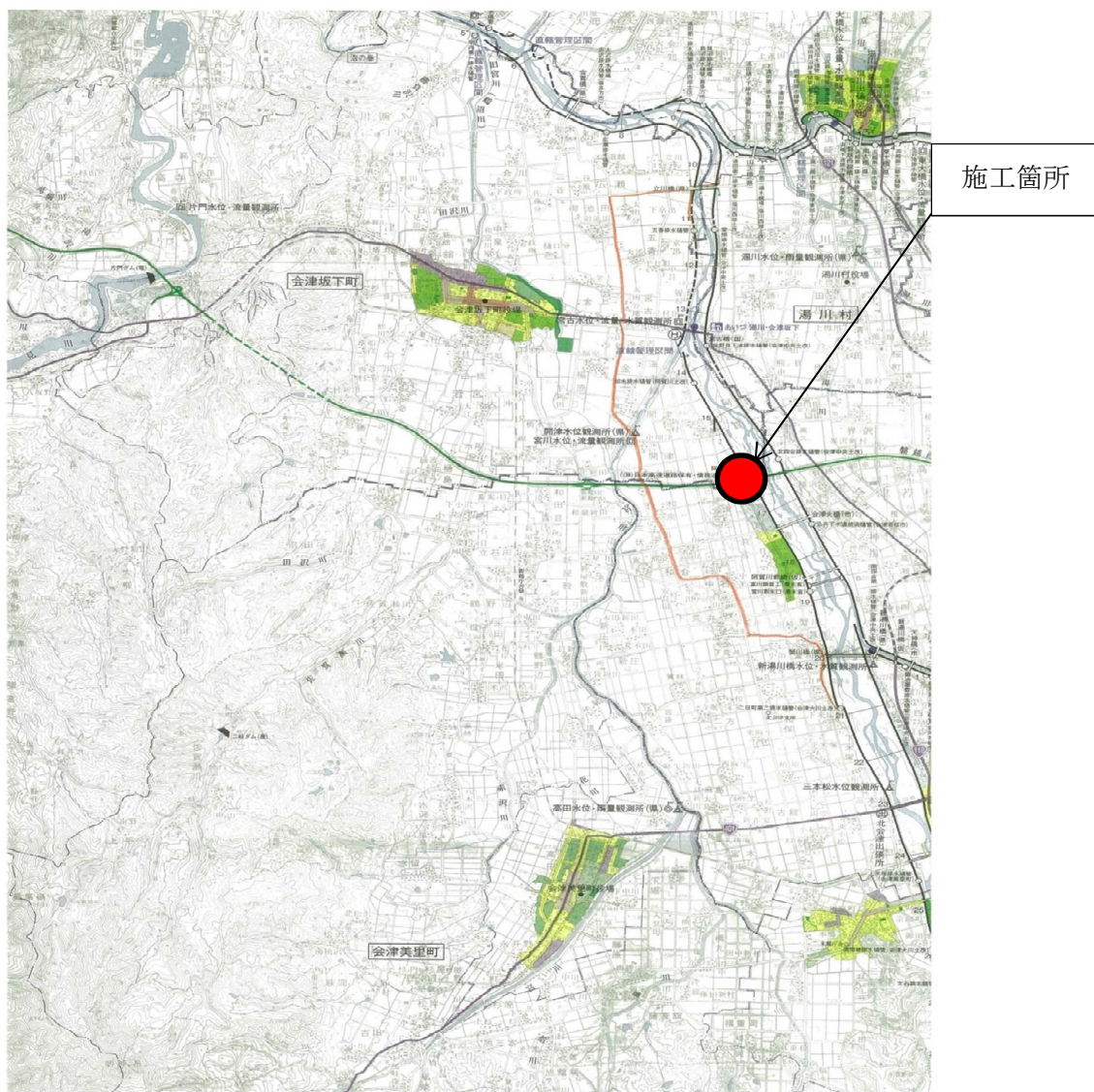
現場代理人 齊藤 貴洋

監理技術者 星 章博

1. はじめに

本工事は、平成 30 年度の河川維持管理工事で、その中での阿賀川橋の水制工の施工について留意した施工方法及び安全対策について報告致します。

【位置図】



2. 工事概要

工事場所：阿賀川河川事務所管内

工 期：平成 30 年 3 月 18 日から平成 31 年 2 月 28 日

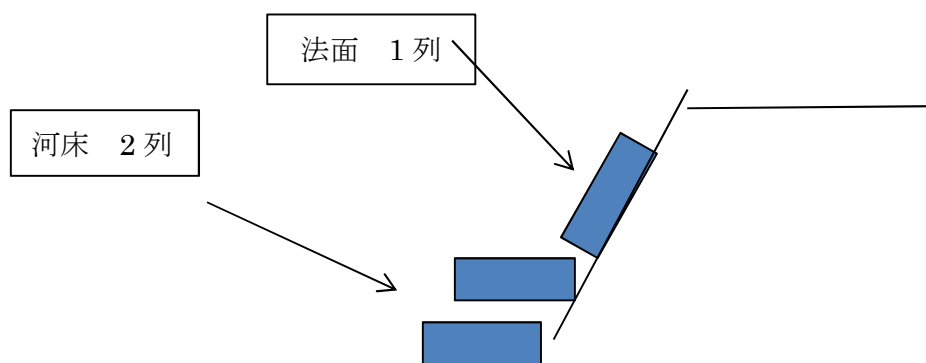
工事内容：水制ブロック据付工（1箇所）

除草工：1 式

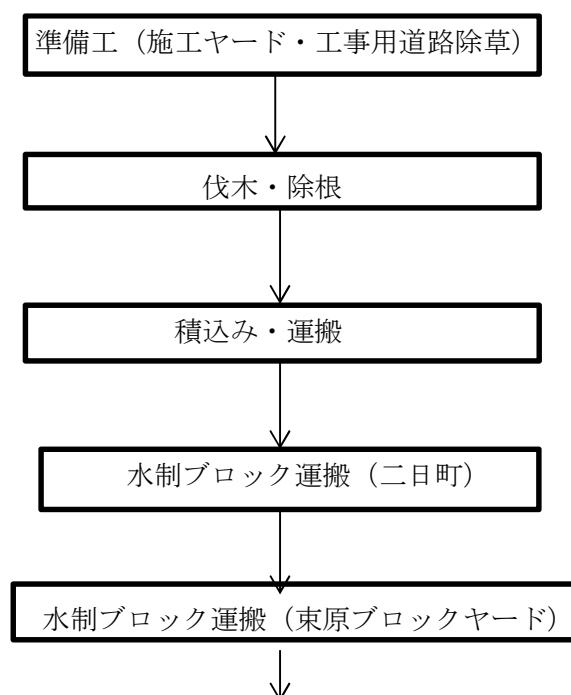
ブロック運搬工 154 基

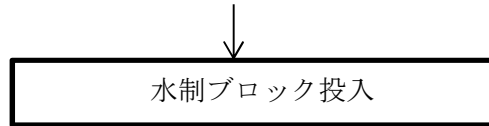
ストーンブロック（2 t）94 基

【ブロック配置図】



3. 施工フロー





4. 安全管理対策

着工にあたり、本作業は高水敷での作業となるので、作業中は河川の水位及び増水等には、十分留意しながら作業を行った。

ブロック据付は、高水敷から 0.7m³ 級バックホウにて河川内に吊りおろし、据付補助とし、ウェットスーツ着用した作業員を配置し、作業するものである。

河川内で作業する場合、増水による被害が最も恐れられることから、河川増水の情報をいち早く知る事が重要となり、作業中止基準の水位に達する前の作業員の避難、重機の退避について、下記の点を作業員に周知徹底した。

1. 危険予知活動で、当日・翌日の気象予報を伝達。
2. 当日の大川ダム放流情報を伝達。
3. 作業員の退避場所及び重機退避場所の確認。
4. 緊急時の連絡体制の確立。(現場代理人の携帯番号を従事者全員に周知)

■その他の安全留意事項

1. 降水時は、既設接続ブロックの損傷がないかを巡視、点検を行った。
2. 作業場所が橋の下だった為、橋への接触が無いよう誘導員を配置し、作業を行った。
3. 吊金具及びワイヤーの始業前点検実施。
4. ワイヤー取り外しが困難なため、ブロック投入専用吊り具を使用した。

施工状況写真



施工完了写真

